

施策の取組状況（詳細）

3.1 取扱状況の確認

- 2019年に策定(2020年一部改訂)された「いばらき自転車活用推進計画」の13施策52措置の進捗状況を整理する。

< いばらき自転車活用推進計画における施策・措置一覧 >

分類	目標	施策	措置(簡略表記)
観光	1.サイクルツーリズムの推進による地域の活性化	1.豊富な地域資源を活用した仕掛けづくり	多彩なサイクリングコースの整備等促進
			統一的な案内誘導サイン等(多言語化)の整備検討
			自転車旅の提案促進、サイクリングツアーやサイクリングイベント等推進
			サイクリングの盛んな国内外の自治体・企業等との連携推進
		2.「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のブランドイメージの向上	「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の認知度向上につなげる取組推進
			サイクルモードインターナショナル等や海外旅行博等への出展
			観光プロモーション等推進、民間や交通事業者と連携した情報発信の推進
		3.サイクリング情報の効果的な発信	国内外への情報発信の充実、SNS等の双方向の情報発信機能等の充実
			サイクリングマップ(全県版)の作成と発信
			県民の自転車活用促進を啓発するイベントの開催
			サイクルモードインターナショナル等や海外旅行博等への出展(再掲)
		4.誰もがいつでも手軽にサイクリングを楽しめる環境の構築	観光プロモーション等推進、民間や交通事業者と連携した情報発信の推進(再掲)
			統一的な案内誘導サイン等(多言語化)の整備検討(再掲)
			サイクリングガイド(多言語対応も含む)の養成推進と活用場の創出
			レンタサイクル導入促進、公共交通との接続強化検討
タンDEM自転車やペロタクシーの公道走行推進			
5.交通結節点の拠点化、サポート体制	サイクリスト向けの機能を整備した宿泊施設の充実のための働きかけ		
	通信環境(Wi-Fi)の普及拡大		
	茨城空港や道の駅、鉄道駅等のサイクリング拠点化の促進		
	サポート体制の充実・強化(サポートステーションや荷物等配送サービス、サイクルレスキュー等)		
	サイクルトレインやサイクルバスの検討		
	休憩施設やポケットパークの機能充実や計画的な配置に向けた検討		
都市環境	2.自転車ネットワーク路線の計画的な整備推進	モデルルート(幹線コース)の位置づけに向けた整備推進	
		矢羽根や案内標識等の整備推進	
		市町村版自転車活用推進計画の策定や整備(県管理道路)支援	
		まちなかにおける駐輪場の整備検討	
	2.自転車活用の促進に向けたまちづくりと連携した取組の推進	路外駐車場の整備や荷さばき用駐車スペースの整備検討	
		自転車専用通行帯等における駐停車禁止規制や違法駐車取締りの推進	
		駐車監視員による違反車両に対する取締り強化	
		ゾーン30の整備や狭さくの設置	
		通学路周辺の安全点検	

3.1 取扱状況の確認

- 2019年に策定(2020年一部改訂)された「いばらき自転車活用推進計画」の13施策52措置の進捗状況を整理する。

< いばらき自転車活用推進計画における施策・措置一覧 >

分類	目標	施策	措置(簡略表記)
安全安心	3. 自転車事故のない安全で安心な社会の実現	1. 多様な交通安全教育の推進	ライフステージ等に応じた自転車安全教育・啓発の推進
			通学路安全マップの作成
		2. 自転車の安全利用の促進	「思いやり運転」の意識向上
			ヘルメット着用等の意識向上
			自転車損害賠償保険等への加入促進
			街頭指導や各種キャンペーン等の実施、リヤカー牽引自転車等に係る交通ルールの周知
			自転車指導啓発重点地区・路線における取締り強化、違反者に対する自転車運転者講習制度の運用
		3. 自転車の交通安全教育に係る人材の育成	交通安全教育者の資質向上
			指導員の拡充
		4. 災害時における自転車活用の推進	「国土強靱化地域計画」や「地域防災計画」などの見直し時の、災害時における自転車の活用方策の検討
健康増進	1. 健康増進等につながる自転車活用の促進	健康増進につながる自転車活用の推進	
		県庁における自転車通勤の利用促進、環境整備等の検討	
		多彩なサイクリングコースの整備等促進(再掲)	
		自転車旅の提案促進、サイクリングツアーやサイクリングイベント等推進(再掲)	
	2. 自転車を活用した健康づくりの有用性の広報啓発	レンタサイクル導入促進、公共交通との接続強化検討(再掲)	
		健康増進に資する自転車活用に関する好事例、活用効果などに関する情報の収集・発信	
		競輪場や公園等を活用した県民参加の取組促進	
		自転車月間等におけるイベント実施	
	国内外への情報発信の充実、SNS等の双方向の情報発信機能等の充実(再掲)		

3.2 各施策の取組状況

3

(1) 【目標】サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【施策1】 豊富な地域資源を活用した仕掛けづくり	重点施策	各担当課評価 (2020年度)
	多彩なサイクリングコースの整備等促進	A
	統一的な案内誘導サイン等(多言語化)の整備検討	A
	自転車旅の提案促進、サイクリングツアーやサイクリングイベント等推進	A
	サイクリングの盛んな国内外の自治体・企業等との連携推進	B

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 2つのサイクリングコース(奥久慈里山ヒルクライムルート、大洗・ひたち海浜シーサイドルート)の協議会を立ち上げ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各コースの協議会運営を推進。「鬼怒・小貝川まちづくり推進協議会」との連携及び「(仮称)利根川沿岸サイクリングロード協議会」の立ち上げ支援を実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「筑波山地域観光案内サインに係るガイドライン」の策定、及び「いばらき多言語表記ガイドライン」を改訂。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コース沿線の観光案内看板について、ガイドラインに基づいた整備。 ● 「水郷筑波サイクリング環境整備事業自転車走行環境整備ガイドライン」を改定。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスのため、企画していたツアーは中止・縮小。 ● 修学旅行の代替としてりんりんロードを活用したサイクリングツアーを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インフルエンサーをいばらきサイクリングナビゲーター(仮)として県内各サイクリングイベントにキャスティング。 ● 主に国内に向けた各種イベントを予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内では、三湖連携の取組を実施、国外では台湾の旅行会社へ現地PR等を予定していたが、新型コロナウイルスのため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 台湾との連携構築を継続。 ● オンラインを活用した現地会社等との商談。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 各施策の取組状況

(1) 【目標】 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【施策2】 「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のブランドイメージの向上

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の認知度向上につなげる取組推進

A

サイクルモードインターナショナル等や海外旅行博等への出展

B

観光プロモーション等推進、民間や交通事業者と連携した情報発信の推進

B

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● つくば霞ヶ浦りんりんロードがNCRに指定される。 ● 沿線の5つの休憩所の設備改修、舗装リニューアル工事。 ● 大須賀津湖畔農村公園(美浦村)がNCR認定条件を満たした休憩所となった。 ● HP等による情報発信、各種メディアへの掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 休憩所を順次整備。 ● NCRの案内看板の設置。 ● しまなみ海道、ピワイチと連携したプロモーションを実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクルモードをはじめとした国内イベント5回、台湾旅行博等の海外向けイベントに6回出展。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、国内外イベント出展予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 台湾や欧米向けとした取材・ツアーを実施(新型コロナウイルス感染拡大後はオンライン等も活用)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえつつ、海外メディアやブロガー・YouTuber等を対象としたファムツアーを実施。 ● B.B.BASE(JR千葉支社)とBEB5土浦(星野リゾート)が連携したメディア向けのモニターツアーをりんりんスクエア土浦を活用して実施。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

5

(1) 【目標】 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【施策3】 サイクリング情報の効果的な発信

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



国内外への情報発信の充実、SNS等の双方向の情報発信機能等の充実

A

サイクリングマップ(全県版)の作成と発信

A

県民の自転車活用促進を啓発するイベントの開催

C

サイクルモードインターナショナル等や海外旅行博等への出展(再掲)

B

観光プロモーション等推進、民間や交通事業者と連携した情報発信の推進(再掲)

B

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングいばらき公式SNS(Twitter、Instagram、YouTubeチャンネル)の開設。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアへのパブリシティを強化し、特に首都圏メディアでの露出拡大を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> 全4ルートを1枚にまとめた全県版マップを作成し、関係各所に掲示。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も立ち寄りスポットやモデルコース等について随時更新を行い、よりサイクリストに使いやすいマップを目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> 「いばらき自転車シンポジウム」を開催し、健康を軸にした自転車活用をPRするとともに、自転車活用文化の浸透を図った。(2019) 2020年度は新型コロナウイルスの影響により、主だった実績なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、市町村・団体等が実施するイベントに対しサイクリングインフルエンサーの活用を働きかける。
	<ul style="list-style-type: none"> サイクルモードをはじめとした国内イベント5回、台湾旅行博等の海外向けイベントに6回出展。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、国内外イベント出展予定。
	<ul style="list-style-type: none"> 台湾や欧米向けとした取材・ツアーを実施(新型コロナウイルス感染拡大後はオンライン等も活用)。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえつつ、海外メディアやプロガー・YouTuber等を対象としたファムツアーを実施。 B.B.BASE(JR千葉支社)とBEB5土浦(星野リゾート)が連携したメディア向けのモニターツアーをりんりんスクエア土浦を活用して実施。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

6

(1) 【目標】 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【施策4】 誰もがいつでも手軽にサイクリングを楽しめる環境の構築

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



統一的な案内誘導サイン等(多言語化)の整備検討(再掲)

A

サイクリングガイド(多言語対応も含む)の養成推進と活用場の創出

A

レンタサイクル導入促進、公共交通との接続強化検討

A

タンDEM自転車やペロタクシーの公道走行推進

B

サイクリスト向けの機能を整備した宿泊施設の充実のための働きかけ

A

通信環境(Wi-Fi)の普及拡大

A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 「筑波山地域観光案内サインに係るガイドライン」の策定、及び「いばらき多言語表記ガイドライン」を改定。 	<ul style="list-style-type: none"> コース沿線の観光案内看板について、ガイドラインに基づいた整備。 「水郷筑波サイクリング環境整備事業自転車走行環境整備ガイドライン」を改定。
	<ul style="list-style-type: none"> 県北地域で13名、水郷筑波地域で11名のサイクリングサポートライダーを養成。 サポートライダー同士の交流や連携を図るため「いばらきサイクルサポートライダー同好会」を設立した。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者が主催するツアーに活用してもらえるようホームページにサポートライダーを紹介するページを作成するとともに、サポートライダーの活用ルールを明確にする。
	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅奥久慈だいが内に奥久慈サイクルステーションを開設し、レンタサイクル事業を開始。 大洗町観光情報交流センター「うみまちテラス」がオープン。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、レンタサイクル施設の導入や整備に関する補助事業活用などを市町村へ働きかける。 水郡線沿線地域のサイクリング推進事業等と連携した、水郡線利用促進事業の実施について検討していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、主だった実績は無かったが、県視覚障害者協会がR3.4.18に実施する県内の視覚障害者を対象としたタンDEM試乗会に向け、自転車の準備等支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き関係機関と連携していく。 観光誘客のみならず、視覚障がい者を対象とした試乗会の実施の検討など、多くの方々に試乗、体感していただく機会を設定するなど、利用促進に向けた取り組みを進めていく。

(次ページに続く)

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

7

(1) 【目標】 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【施策4】 誰もがいつでも手軽にサイクリングを楽しめる環境の構築

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



統一的な案内誘導サイン等(多言語化)の整備検討(再掲)

A

サイクリングガイド(多言語対応も含む)の養成推進と活用場の創出

A

レンタサイクル導入促進、公共交通との接続強化検討

A

タンDEM自転車やペロタクシーの公道走行推進

B

サイクリスト向けの機能を整備した宿泊施設の充実のための働きかけ

A

通信環境(Wi-Fi)の普及拡大

A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> サイクリストにやさしい宿の認定制度を設け、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線市町村内の宿泊施設を対象に募集。25施設を認定した。 	<ul style="list-style-type: none"> サイクリストにやさしい宿の認定対象地域を奥久慈里山ヒルクライムルート及び大洗・ひたち海浜シーサイドルート沿線市町村内まで拡大し、宿泊施設を募集。
	<ul style="list-style-type: none"> 市町村会議において保有または管理している施設への導入の働きかけを実施。 観光事業者を対象にWi-Fi環境等の整備を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県有施設における整備推進と、市町村や県内経済団体、事業単体を通じた普及を図っていくほか、普及が進んでいない地域を中心に、個別に該当市町村の事業団体等に協力依頼を行う。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

8

(1) 【目標】 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【施策5】 交通結節点の拠点化、サポート体制

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



茨城空港や道の駅、鉄道駅等のサイクリング拠点化の促進

B

サポート体制の充実・強化(サポートステーションや荷物等配送サービス、サイクルレスキュー等)

B

サイクルトレインやサイクルバスの検討

A

休憩施設やポケットパークの機能充実や計画的な配置に向けた検討

A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 茨城空港におけるサイクルスタンド、更衣室の適切な維持管理。 茨城空港ホームページに「MY自転車をつくば霞ヶ浦りんりんロードへ」を掲載し、就航先のサイクリストへ空港発のサイクリングをPR。 	<ul style="list-style-type: none"> 「小美玉市まちづくり構想」の実現に向けて市と連携しながら、空港周辺のサイクリング拠点化に向けた取り組みを推進する。 茨城空港を起点としたサイクリングツアーを実施するなど、拠点化に向けた取組を推進する。
	<ul style="list-style-type: none"> 市町村に対して受入体制の充実を働きかけ、市町村独自のサイクルサポートステーション整備を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市町村に対して受入態勢の充実を働きかけるとともに、県でもポータルサイト等で情報発信に努める。 サイクルステーション整備支援事業を活用し、拠点整備の支援を進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 10月からJR東日本が運行するB.B.BASEが潮来駅、鹿島神宮駅に停車することになった(毎月1～2回程度)。 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島臨海鉄道において、昨年度に続き今年度もサイクルトレインの実証実験を実施予定。 ひたちなか海浜鉄道でのサイクルトレイン実施に向けて検討をしていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備について、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線の5つの休憩所の設備改修を実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩所については順次改修工事を実施していく。 かわまちづくり計画を活用し、ポケットパーク等の配置検討を進めていく。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

A	: 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
B	: 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
C	: 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

(2) 【目標】 自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備

【施策6】 自転車ネットワーク路線の計画的な整備推進	重点施策	各担当課評価 (2020年度)
モデルルート(幹線コース)の位置づけに向けた整備推進		A
矢羽根や案内標識等の整備推進		A
市町村版自転車活用推進計画の策定や整備(県管理道路)支援		A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 茨城空港と霞ヶ浦を結ぶ区間の矢羽根等の整備が完了した。 ● 令和2年11月、峠道パンフレットを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 標識及び路面標示の設置工事を進める。 ● 舗装修繕も併せて実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線コースの整備や、市町村の地方版自転車ネットワーク等の策定・整備状況を鑑みながら、アクセス道路とするルートの設定や整備手法、整備水準等について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線コースの整備を推進する。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 行方市、阿見町、那珂市、常総市、茨城町、かすみがうら市から個別相談があり、適宜支援を行った。 ● 大洗・ひたち海浜シーサイドルート協議会参画予定市町村への計画策定を呼びかけた。 ● 水戸市、つくば市、那珂市、茨城町の各計画委員会に参画し、県として助言等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取手市の計画委員会への参加を予定している。 ● 各ルートの協議会参画市町村に計画策定を呼びかける。 ● 市町村からの個別相談に应对、助言等を行う。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

10

(2) 【目標】 自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備

【施策7】 自転車活用の促進に向けたまちづくりと連携した取組の推進

各担当課評価
(2020年度)

まちなかにおける駐輪場の整備検討	A
路外駐車場の整備や荷さばき用駐車スペースの整備検討	C
自転車専用通行帯等における駐停車禁止規制や違法駐車取締りの推進	A
駐車監視員による違反車両に対する取締り強化	A
ゾーン30の整備や狭さくの設置	B
通学路周辺の安全点検	A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 「いばらき自転車ネットワーク 自転車通行環境整備ガイドライン」の策定作業の中で、検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して検討を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> 「いばらき自転車ネットワーク 自転車通行環境整備ガイドライン」の策定作業の中で、検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して検討を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> いばらき自転車ネットワーク及び市町村自転車ネットワークにおける自転車通行空間において、既に駐停車禁止等の規制がされている区間が多く、新たに駐停車禁止規制の必要な区間はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の交通状況に鑑み、必要に応じて駐停車禁止規制の実施を検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度からの次期契約の締結に向けた予算要求作業を進めている。 ガイドラインに応じた駐車監視員の活動を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車監視員のガイドラインにおける、さらなる違反車両排除活動の推進。

(次ページに続く)

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

A	: 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
B	: 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
C	: 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

11

(2) 【目標】 自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備

【施策7】 自転車活用の促進に向けたまちづくりと連携した取組の推進

各担当課評価
(2020年度)

まちなかにおける駐輪場の整備検討	A
路外駐車場の整備や荷さばき用駐車スペースの整備検討	C
自転車専用通行帯等における駐停車禁止規制や違法駐車取締りの推進	A
駐車監視員による違反車両に対する取締り強化	A
ゾーン30の整備や狭さくの設置	B
通学路周辺の安全点検	A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路対策エリアにおいて、市町村と連携し歩道整備等の歩行空間等の確保を実施。 牛久市内において、2箇所のゾーン30の整備を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携し、路面標示や狭さくの設置など、生活道路における安全対策を推進する。 昨年度に引き続き、要望箇所の必要性を検討の上、ゾーン30の整備を推進する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「通学路の安全に係る市町村連絡会議」は書面開催とし、各市町村における現状と課題について取りまとめたものを共有した。 「通学路交通安全プログラム」に基づく実施状況調査を実施し、道路維持課、建築指導課と情報共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「通学路の安全に係る市町村連絡会議」を開催し、県からの依頼事項の伝達や、各市町村における現状と課題を共有する。 「通学路安全プログラム」に基づく実施状況調査を実施し、必要な対策を講じてもらうよう市町村に依頼する。さらに、調査結果を関係各課と情報共有する。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

A	: 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
B	: 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
C	: 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

12

(3) 【目標】 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

【施策8】 多様な交通安全教育の推進

重点施策

各担当課評価
(2020年度)

ライフステージ等に応じた自転車安全教育・啓発の推進

A

通学路安全マップの作成

A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校・企業において自転車シミュレーターを活用した交通安全教室を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通ルールや危険予測・回避トレーニングを実践的に学習できる自転車シミュレーターを活用した交通安全教室を継続的に開催。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全教育指導者研修会における資料において、効果的な交通安全教育の一つとして通学路安全マップの作成を紹介した。 ● 指導主事等研究協議会(書面開催)における資料において通学路安全マップの作成について各市町村に依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導主事研究協議会や安全教育指導者研修会において、通学路安全マップの作成について働きかけを行っていく。 ● 今年度の学校安全総合支援事業のモデル地域となっている八千代町と連携し、取組を紹介する。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

A	: 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
B	: 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
C	: 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

(3) 【目標】 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

【施策9】 自転車の安全利用の促進

重点施策

各担当課評価 (2020年度)



「思いやり運転」の意識向上	A
ヘルメット着用等の意識向上	A
自転車損害賠償保険等への加入促進	A
街頭指導や各種キャンペーン等の実施、リヤカー牽引自転車等に係る交通ルールの周知	A
自転車指導啓発重点地区・路線における取締り強化、違反者に対する自転車運転者講習制度の運用	A
地方公共団体職員に対するルール遵守の徹底	A
定期的な点検整備	A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全県民運動の推進内容に「他のドライバー、横断歩行者、自転車利用者への思いやりや譲り合いの意識をもった運転を実践する」ことを明示した。 茨城県交通安全県民運動推進要綱をHPに掲載するとともに、市町村、関係団体にも配布し、交通安全運動の推進を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いやり運転について自動車ドライバー等に対し、継続して県等のホームページなどによる普及啓発を実施。 自転車安全利用に係るチラシ等を交通安全教室等で配付。
	<ul style="list-style-type: none"> 「自転車乗車時における交通事故の未然防止について」として緊急情報メールを県内全公立学校に発信し、自転車乗車時のヘルメット着用について各学校で指導するよう依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事研修会において市町村に引き続き依頼していくとともに、緊急情報メールや、ラジオ番組「みんなの教育」でヘルメット着用を呼びかけていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 教育庁や警察と連携したメールでの啓発。 ポスター2,000枚、チラシ140,000枚を作成し、市町村や学校、自転車販売店、その他関係機関に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> HPやSNS、メールや広報誌等を活用して普及啓発を図り、加入率の向上を目指す。 チラシ等を活用しながら、自転車保険の加入促進を呼びかける。

(次ページに続く)

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

(3) 【目標】 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

【施策9】 自転車の安全利用の促進

重点施策

各担当課評価 (2020年度)



「思いやり運転」の意識向上	A
ヘルメット着用等の意識向上	A
自転車損害賠償保険等への加入促進	A
街頭指導や各種キャンペーン等の実施、リヤカー牽引自転車等に係る交通ルールの周知	A
自転車指導啓発重点地区・路線における取締り強化、違反者に対する自転車運転者講習制度の運用	A
地方公共団体職員に対するルール遵守の徹底	A
定期的な点検整備	A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月1日に自転車の安全利用のための県下一斉広報日として車両広報車等による地域への啓発を実施。 ● 街頭キャンペーンを行い、自転車安全利用五則のチラシや啓発品を配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関等と協力し、SNSやメール等を活用した自転車安全利用の呼びかけ。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各警察署において選定した重点地区・路線において、交通違反に対して交通指導取締りを実施するとともに、重点路順の見直しを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重点地区・路線において指導・警告及び取締りを実施するとともに、交通事故の発生状況や地域の要望等を踏まえ、随時重点地区・路線の見直しを実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ● SNS(県公式ツイッター)を利用し、自転車の安全利用を呼びかける情報を定期的に発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● HPやSNS、広報誌等を活用して交通ルールの遵守及び自転車の安全利用を呼びかける。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校等において交通安全教室を開催し自転車の点検整備等に関する指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等を踏まえ、関係者の感染防止対策を講じた上で実施していく。 ● 自転車の運転前の点検や定期的な点検整備の実施により、自転車の安全性を継続的に確保するとともに、交通安全意識の醸成を図る。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

15

(3) 【目標】 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

【施策10】 自転車の交通安全教育に係る人材の育成

各担当課評価
(2020年度)

交通安全教育者の資質向上

C

指導員の拡充

C

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 県安全協会主催の自転車安全教育指導者養成講習会において、交通安全講話や自転車シミュレーターの実技の講師として、普及啓発等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 県交通安全協会と連携して進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会に保健体育課担当指導主事が参加し、次年度の講習会について引き続き教職員が参加できるよう交通安全協会に対して働きかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 県交通安全協会と連携し進めていく。 研修を受講した各担当者が、それぞれの市町村において、どのように伝達していくかを検討する。

【施策11】 災害時における自転車活用の推進

重点施策

各担当課評価
(2020年度)

「国土強靱化地域計画」や「地域防災計画」などの見直し時の、災害時における自転車の活用方策の検討

B

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化基本計画の改定内容を踏まえ、茨城県国土強靱化計画の改定にその内容を反映できるか検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化基本計画における国の改定を県計画へ反映させるべきかについては、検討を要する。 引き続き、災害時の活用に備え、既存の駐輪場の維持管理を行う。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

16

(4) 【目標】 自転車を活用した県民の健康増進

【施策12】 健康増進等につながる自転車活用の促進

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



健康増進につながる自転車活用の推進

A

県庁における自転車通勤の利用促進、環境整備等の検討

A

多彩なサイクリングコースの整備等促進(再掲)

A

自転車旅の提案促進、サイクリングツアーやサイクリングイベント等推進(再掲)

A

レンタサイクル導入促進、公共交通との接続強化検討(再掲)

A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングなどの日常的な運動や生活習慣改善の取組にポイントを付与し、利用者が楽しみながら健康管理に活用できる県の公式健康アプリ「元気アップ!りいばらき」に、サイクリング機能を設け、健康増進の取組に自転車の活用を取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「元気アップ!りいばらき」内におけるサイクリング取組み件数並びにそれによる平均ポイント推移は、ゆるやかに増加しており、引き続きアプリと自転車の利用率向上のための啓発活動を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 地方職員共済組合主催によるアプリを利用している県職員対象のインセンティブ付与イベントを実施(全3回)、当該イベントへの協力並びに周知を行うことで県職員の健康増進に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自転車通勤チャレンジウィーク企画」について、引き続き県も連携し自治体職員の自転車通勤促進に寄与する。 引き続き、茨城県環境保全率先実行計画の取組を推進していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 2つのサイクリングコース(奥久慈里山ヒルクライムルート、大洗・ひたち海浜シーサイドルート)の協議会を立ち上げ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各コースの協議会運営を推進。「鬼怒・小貝川まちづくり推進協議会」との連携及び「(仮称)利根川沿岸サイクリングロード協議会」の立ち上げ支援を実施。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスのため、企画していたツアーは中止・縮小。 修学旅行の代替としてりんりんロードを活用したサイクリングツアーを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンサーをいばらきサイクリングナビゲーター(仮)として県内各サイクリングイベントにキャスト。 主に国内に向けた各種イベントを予定。
	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅奥久慈だいが内に奥久慈サイクルステーションを開設し、レンタサイクル事業を開始。 大洗町観光情報交流センター「うみまちテラス」がオープン。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、レンタサイクル施設の導入や整備に関する補助事業活用などを市町村へ働きかける。 水郡線沿線地域のサイクリング推進事業等と連携した、水郡線利用促進事業の実施について検討していく。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。

3.2 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

17

(4) 【目標】 自転車を活用した県民の健康増進

【施策13】 自転車を活用した健康づくりの有用性の広報啓発

重点施策

各担当課評価
(2020年度)



健康増進に資する自転車活用に関する好事例、活用効果などに関する情報の収集・発信

A

競輪場や公園等を活用した県民参加の取組促進

C

自転車月間等におけるイベント実施

A

国内外への情報発信の充実、SNS等の双方向の情報発信機能等の充実(再掲)

A

措置	主な取組実績・成果 (2019年度～2020年度)	主な取組予定 (2021年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 健康をテーマにした「いばらき自転車シンポジウム」を開催し、健康を軸にした自転車活用の効用をPRするとともに、幅広い層が自転車を活用するよう自転車活用文化の浸透を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、自転車活用による健康増進の事例について情報を収集・発信に努める。
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生以下を対象とした競輪選手による自転車乗り方教室を開催したほか、11月17日に「サイクルアートフェスティバル2019」を開催し、自転車活用に向けた普及啓発を実施した。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が収束しないことから、イベント等の実施は困難な状況であり、取手競輪場を活用したサイクルスポーツの普及啓発活動については、感染症の収束を待ち、従前から実施していた地域開放イベント等の再開をもって引き続き推進していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策による大規模な集会等の自粛に伴い、県主催のイベント等実施については困難であるが、国営ひたち海浜公園において、園内イベントでのサイクリング利用等によりアプリ内でのポイントが取得できる連携取組を12月より開始、自転車の利活用促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も国営ひたち海浜公園において、園内イベントでのサイクリング利用等によりアプリ内でのポイントが取得できる取組を実施する。 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、市町村や関係団体における自転車のイベントについて、アプリ内のイベントとして登録しポイント化することで、アプリの利用促進とイベントの開催を支援する。
	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングいばらき公式SNS(Twitter、Instagram、YouTubeチャンネル)の開設。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアへのパブリシティを強化し、特に首都圏メディアでの露出拡大を図る。

以降のページにおける各担当課評価については、以下のとおり

- A** : 計画どおり取組ができており、期待どおりの成果が出ている
- B** : 計画どおり取組ができていないが、十分な成果が出ていない
- C** : 計画どおりの取組ができていない。